

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

あみ・未来プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

茨城県稲敷郡阿見町

3 地域再生計画の区域

茨城県稲敷郡阿見町の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状と課題】

本町の人口の推移をみると、昭和30年に人口22,852人の町として誕生して以来、昭和40年以降の住宅団地開発や土地区画整理事業などにより、平成7年までは急増し、その後も平成17年の47,994人まで微増傾向にあったが、それ以降は横ばい傾向にある。人口動態は、近年、社会増減（転入転出）、自然増減（出生死亡）とも減少している状況となっている。また、世帯数は増加傾向を示しているが、単独世帯の増加が進んでいる。本町における長期的な人口の見通しとして、今後、合計特殊出生率が上昇したとしても、人口の減少は続くことが予測されるため、町の人口維持・増加を実現するためには、長期的な視点での人口の安定化を目指す出生数増加策と併せて、転入数の上積み、転出抑制などの社会増を図る必要がある。

そのためには、町民がより安心して子どもを産み育てることができる良好な環境を創出するとともに、高齢者や障害者が生きがいをもって活躍できる地域社会を実現することにより、誰もが安心できる未来を描くことが重要である。また、町内消費の増加によって、より多くの所得を還流させ、町内経済の好循環を形成し、安定した雇用を生み出すことで、経済的な不安を軽減する必要がある。さらには、グリーンツーリズムの推進等による交流・関係人口の創出や観光客の町内周遊を促す取組も町の活性化には欠かせない重要な視点となっている。

【目標】

これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標として掲げ、人口減少を緩やかにし、将来的に一定規模の人口を維持していくことを目指す。

- ・基本目標 1 町民の雇用機会の創出と確保
- ・基本目標 2 町へのひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが活躍できるまちづくり
- ・基本目標 4 住みやすい町を次世代につなぐ

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (2018年度)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	事業所従業員数	20,484人	21,000人	基本目標 1
イ	転入者数	+260人/年	+226人以上 /年	基本目標 2
ウ	若い世代（15-49歳）の人口	19,672人	19,405人	基本目標 3
エ	町に住み続けたいと思う人の割合	68.3%	70.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

あみ・未来プロジェクト

ア 町民の雇用機会の創出と確保を図る事業

イ 町へのひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望がかない，誰もが活躍できるまちづくり事業

エ 住みやすい町を次世代につなぐ事業

② 事業の内容

ア 町民の雇用機会の創出と確保を図る事業

農商工連携と6次産業の活性化，資金面での中小企業の下支え，経営相談の充実，創業しやすい環境づくり，新規就農者の支援，就業機会の創出等，多様で活発な経済活動を通じ，都市の活力を向上させ，社会経済情勢の変化に対応できる足腰の強い経済基盤を確立し，町民の雇用機会の創出と確保を図る事業。

イ 町へのひとの流れをつくる事業

阿見の魅力資源の積極活用，観光客の満足度向上，広域的な観光振興，郷土愛を育むまちづくり，シティプロモーションの推進，UIJターンの促進，人材の育成等，町の魅力を積極的にPRし，交流人口・関係人口の創出・拡大に取り組むとともに，若年層の転入促進，転出抑制を図り，地方への新しい「ひと」の流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望がかない，誰もが活躍できるまちづくり事業

保育施設等の充実，児童の放課後の居場所づくり，子育て支援センター等の機能の充実，男女の出会いの場の創出，妊娠中から産後の支援の充実，育児相談の充実，子育て世帯の経済的負担の軽減，ワーク・ライフ・バランスの推進等，若い世代の結婚，出産，子育てに係る不安・負担を軽減し，希望をかなえるため，個々人の状況に応じて適切な支援を切れ目なく行うとともに誰もが活躍できるまちをつくる事業

エ 住みやすい町を次世代につなぐ事業

町民活動センターの機能の向上，文化芸術活動等の推進，良好な市街地の形成と住環境づくり，公共施設等の戦略的な維持管理・更新等の推進，自然環境の保全，公共交通の利便性の向上，安全・安心の確保，高齢者等の活躍の促進等，活気あるコミュニティの形成と安心して暮らし続けられる生活環境の確保を図り，住みやすい町を次世代につなぐ事業

※ なお，詳細は，第2期阿見町人と自然が織りなす，輝くまち創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

30,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度12月に外部有識者による効果検証を行い，翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで